

淄博市「四強」産業紹介

1. 新材料産業：新材料は国の基準により6種類に分けられています。淄博市ではその全てが製造されており、今のところ、先進高分子材料、非金属無機材料、金属新材料の3つの産業の発展が顕著です。淄博市は山東省のレアアース新材料産業基地で、ポリテトラフルオロエチレン、無水フッ化水素などの製品生産力は全国第1位で、先進セラミックスの生産力は全国でもトップクラスです。

これからは、ポリオレフィン、ポリウレタン、フッ素ケイ素、エンジニアリングプラスチック、先進セラミックス、高級耐火物、機能ガラス、ガラス繊維、先端アルミベース、レアアースと先端合金などの分野での開発を支援します。

2. スマート機器：淄博市のスマート機器産業は、主に新エネルギー自動車と部品、高級コンピュータ制御装置製作機械と基盤製造設備、スマート伝動装置、ロボットとその応用製品、スマートセット装備などのハイエンド機器分野に関して、「中国のポンプ都市」と「国家松明計画淄博ポンプ類製造業重点産業基地」の二つの荣誉称号を持っています。

これからは、新エネルギー自動車、高級コンピュータ制御装置製作機械、高効率動力伝動装置、スマートロボット、スマート専用装備などの分野での開発を支援します。

3. 新医薬産業：淄博市の医薬産業は70年以上の発展の歴史があり、「化学製薬、医療機械」という二つの優れた産業構造を形成しました。新華製薬、瑞陽製薬、金城製薬、新華医療、藍帆医療など有名な企業を持ち、医薬工業の経済規模は長年に渡り、山東省トップを常に維持しています。

これからは化学薬品、バイオ医薬、ハイエンド医療機器の開発支援に力を入れ、全国一流の化学薬品、バイオ医薬、ハイエンド医療機械の研究開発・生産拠点を構築していきます。

4. 電子情報産業：淄博は中国北部の重要な電子情報産業基地であり、ICカード包装・検査能力と出荷量は世界第1位で、「4園3網1基地」の産業発展形態を形成しています。

「4園」は、集積回路、計器、電子部品、ソフトウェア4つの山東省を代表する規模の工業地帯です。「3網」は工業地帯よりも大規模で、製造に関する部品製造から組み立て、販売、アフターサービスまで一貫したラインを形成しています。淄博市では集積回路、スマートグリッド、ソフトウェア3つのハイテク産業の革新網が発展しています。「1基地」とは、淄博市がユビキタスネットワークに力を入れているため、山東省のユビキタスネットワーク基地になっています。

これからは、集積回路、IGBT、MEMS、ユビキタスネットワーク、工業ネットワーク、電子材料、スマート計器などの発展を支援します。なお、特に人工知能、産業計算力、ブロックチェーンなどの分野で成果を出すことを目標としています。